



寒さも本格的に厳しくなってきましたが、子どもたちは寒さにも負けず戸外でたくさん身体を動かして遊んでいます。先日行われたくろの秋まつりでは、何を食べようかと悩みながらチケット売り場に並ぶ子、買ったチケットを握りしめ、わくわくしながら列に並ぶ子など楽しそうな子をたくさん見かけました。いつもよりおしゃれをして、いつもと違った雰囲気友達に会うと、なんだか照れくさそうにしながらも一緒に豚汁を飲んだり、だんごを食べたりとても嬉しそうでした。ホールでのちぢみっこ作りや製作遊びでもお母さんお父さんと協力して素敵なキーホルダーを完成させることができました。12月も、もちつきやクリスマス会など行事があります。みんなで季節を感じながら楽しく参加できたらいいなと思います。



### ★今月のテーマ★

#### 「相手の目を見て挨拶をする」

友達に会った時、保育教諭に会った時に目を見て元気よく挨拶ができない子を見かけます。そこで、今月は家族、友達、保育教諭に元気よく挨拶ができるように取り組んでいきたいと思います。会った人に自分から挨拶ができると、挨拶をした人もされた人もとてもいい気持ちになります。そして、目を見て挨拶をすることで会話が生まれたりコミュニケーションをとるきっかけとなり、楽しい一日のスタートが切れます。友達に会った時には「おはよう」と笑顔で挨拶をしますが、大人に対しては「おはようございます」と丁寧に挨拶ができると素敵です。視線を合わせながら「おはようございます」と言い、丁寧な挨拶が習慣づけられるようにしていきたいです。また、朝の挨拶はできていても、帰りに元気よく「さようなら」と言える子が少ないです。「バイバイ」ではなく、「さようなら」と丁寧に挨拶ができるといいですね。「おはようございます」や「さようなら」と、お家の方が先に挨拶をしたり、一緒に言うことで「私も大きな声で挨拶をしてみよう」という気持ちに繋がり、みんなで気持ちよく挨拶が出来るようになるといいですね。

#### <子どもが安心して生活できるように保育教諭がすること>

- \* 感染症が流行する季節なので、こまめに手洗いうがいの声掛けをして体調を崩さないようにします。
- \* ルールのある遊びを取り入れながら、友達と協力して遊ぶ楽しさを味わえるようにします。
- \* 自分の気持ちが伝わった時の喜びが感じられるように保育教諭も共感しながら話を聞いたり一人ひとりの表現の仕方に共感し自信や意欲に繋がるようにします。
- \* 風の冷たさや木の変化を感じ、子どもたちが興味を持ったことを調べられる環境を作ります。
- \* 年末年始にかけて大掃除や日本の伝承遊びを経験します。



## <子どもの遊びや教育的活動>

- \* 寒さや活動内容に応じて室内環境や衣服の調節等に気をつけて健康に過ごします。
- \* ルールのある遊び(転がしドッジや、氷鬼など)を楽しむことで、ルールを守る大切さを知ります。
- \* 風の冷たさや木の変化に気づき、友達や保育教諭と季節を肌で感じながら遊びます。
- \* 音楽に合わせて友達と歌ったり、楽器を鳴らしたりして遊ぶことを楽しみます。
- \* 自分の思いや考えを伝えたり相手の話を聞こうとしたりします。

## <お願いします>

- \* 縄跳びを使って遊ぶことが多くなりました。スカート、スカート付きのスボン、フード付きの動きにくい服は避け、活動的で安全な服装で登園して下さい。
- \* 記名のない持ち物が多く見られます。一度すべての物に名前が書いてあるかを確認して下さい。
- \* まだ歯ブラシを持ってきていない子がいます。給食後に必ず磨きますので持たせていただくようにお願いします。
- \* 黄鞆にキーホルダーをたくさんつけている子がいます。一人ひとつまでにして頂きますようにお願いします。



## ★大工さんになったよ★

学習遊びの中で職業について学び、大工さんに興味津々な子どもたち。そこで、大工さんになりきって遊ぶコーナーを作りました。大きな積み木と玩具のトンかちを置き、実際にトントントン…家を作ってみますが家が完成したら大工さんはなにをしたらいいんだろう?と困ってしまい、いつも同じ積み木を叩いているだけでは物足りない様子でした。そこで、本物の木材、トンかち、釘を部屋に置いてみることにしました。「本物や。本当に釘トントンしてもいいの?」と、わくわくしている子どもたち。最初は手を叩いて「痛い、釘を持つ怖いよ」と言っていた子も細かくトンかちを動かしたり、先がある程度打てたら釘を持つ手を離して力いっぱい打つなど、自分たちでコツを掴み上手に打てるようになっていきました。最初は木の好きなところに釘を打ち、毛糸を巻いているだけでしたが「この木、顔にできるんじゃない?」「私はハートを作りたい」という子どもたちの提案で保育教諭が鉛筆でしるしを付け、そこに釘を打つようにしました。ひとり2本ずつ交代で打ちながらみんな完成させたたくさんの顔やマークを見て嬉しそうに、「これ僕が作ったんだよ、ここに飾ろうか」と自慢気な表情で棚に飾っていました。また、完成した木をやすりで削るとつるつるになることも知り、本物の大工さんになりきって真剣な表情で木を削る子どもたちでした。年中で本物の釘を打つのは危ないのかな…と最初思っていました但实际上に使用してみると、子どもは自分で考えて安全に扱うことができ、本物を使って経験する大切さや楽しさを改めて感じることができました。12月は動物について学習遊びをしていきます。

